

各位

2016年12月1日  
株式会社博報堂

FUTURE CATALYSTS 主催 公開型トークイベント 第3回「FC PLATZ」  
「住む」の未来形 ～20年後の個人の領域、他者との境界～  
開催のお知らせ

博報堂とオーストリア・リンツ市を本拠地とするメディア・アートの文化機関「アルスエレクトロニカ」による共同プロジェクト「FUTURE CATALYSTS」は、公開型トークイベント第3回「FC PLATZ」を開催することになりましたので、お知らせいたします。

第3回のテーマは、「住む」の未来形 ～20年後の個人の領域、他者との境界～

地球の総人口が73億人を突破し、都市の人口密度が上がり続ける昨今、「住む」ことの未来が議論されることは年を追って多くなってきています。

空き部屋を提供する民泊サービスやシェアハウスと言った空間だけでなく、WEBを通じたシェア行為を初めとしたシェアビジネスの隆盛が象徴するように、我々は未来の「住」にまつわる問題を解決する糸口を掴んだように思えます。

一方で、現在の多くのシェアビジネスは一時的な商品・サービス提供に留まっており、差し迫って必要とされているわけではありません。しかし、いずれ「シェア」することを迫られる社会になる可能性もあるかもしれません。その時、あなたは自分の「何」まで他人とシェアし、どこまで「不可侵の領域」を保ちますか。

「住」をテーマにした今回、個人のプライバシーの領域と、他者とのパブリックの領域における境界線に着目しました。「人と人とのこれからの最低限の境界線とは?」「未来の共有（シェアハウス、シェアカー etc）の変遷」「新しいパーソナルスペースは作れるか?」などを取り上げる予定です。

自他を取り巻く境界線の変化という視点で、近い将来の「住む」ことがどのようにアップデートされるのか、皆さんで議論を交わしたいと思います。

<開催概要>

テーマ：「住む」の未来形 ～20年後の個人の領域、他者との境界～

日時： 2016年12月14日（水）

時間： 17:00～20:00 予定

放送： TwitCasting ライブ放送：<http://twitcasting.tv/c:platz03>

主催： FUTURE CATALYSTS（博報堂×アルスエレクトロニカ）

ゲスト（敬称略）：

- ・小川秀明（Ars Electronica Future Lab）→ [プロフィール](#)
- ・Christopher Lindinger（Ars Electronica Future Lab）→ [プロフィール](#)
- ・Martina Mara（Ars Electronica Future Lab）→ [プロフィール](#)
- ・近藤ヒデノリ（博報堂インタラクティブデザイン局）→ [プロフィール](#)

※今回観覧募集はありません。TwitCasting ライブ放送を予定しております。

本件に関するお問い合わせ：[info@future-catalysts.com](mailto:info@future-catalysts.com)

報道関係者様からのお問い合わせ：博報堂 広報室 西尾・江渡（03-6441-6161）

## <ご参考>

### ■ FC PLATZ とは

テクノロジーやサイエンスの進化は、私たち生活者の「日常体験」や「生活様式」を大きく変えようとしています。「FC PLATZ」は、「生活者」視点を軸に、新しい変化をもたらす可能性を、先駆的な活動を行っているイノベーター、アーティスト、研究者、企業内の研究開発者などの方々とともに、領域を超えた新たな触発を通して検証していきます。そして、「衣」・「食」・「住」・「働」など、日常の「生活体験」をアップデートする、新たなアイデアの創出を目指します。「アート、テクノロジー、社会」をテーマに、最先端の表現領域を追求する「アルスエレクトロニカ」の研究者も随時このイベントに参加いたします（「PLATZ」<プラッツ>=ドイツ語で「広場」の意）。

### ■ FUTURE CATALYSTS とは

アルスエレクトロニカと博報堂による共同プロジェクト。アルスエレクトロニカは1979年以来、アート×テクノロジー×社会をテーマに未来社会を描き出す先端的な創造性をつなぐ拠点として、多様な創造性を横断することで生まれる「未来」を具体的なカタチとして社会に提案してきました。博報堂は1981年に「生活者発想」を具現化するため、博報堂生活総合研究所を設立し、以来「生活者」という社会の中の本質を観察しながら、「生活者発想」で産業と社会をつないできました。私たち「FUTURE CATALYSTS」は従来の枠組みを越え、互いの経験、専門性、創造性を活かし合い、触発しあうことで未来をつくる「創造的な問いかけ (Creative Question) を生み出し、日本の産業、行政、地域社会の『未来』をつくる「触媒」となり、実践していくことを目指しています。

FUTURE CATALYSTS: <http://future-catalysts.com>

### ■ Ars Electronica (アルスエレクトロニカ) とは

オーストリア・リンツに拠点を置く、メディア・アートの世界最高峰の文化機関。毎年9月にアート・テクノロジー・社会をテーマに行われる「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」の他、未来の美術館・学校としての「アルスエレクトロニカ・センター」、メディア・アートの最先端コンペティションである「プリ・アルスエレクトロニカ」、R&D 機関である「フューチャーラボ」の4部門があり、1979年の設立以降、未来のかたちを探求し発信し続けています。

クリエイティブ・シティとして知られるリンツ市のドライビング・フォースとして世界的な先駆モデルと位置付けられています。リンツ市が2009年にEU「欧州文化首都(Cultural Capital)」に、2014年にはユネスコ「創造都市(the Creative Cities -City of Media Arts)」に選ばれたことにもアルスエレクトロニカの存在は大きく寄与しています。

Ars Electronica: <http://www.aec.at/>